

# 健康づくりは幸せづくり

Making Health  
is making happiness



第66期

## 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日

### Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

ZERIA



代表取締役会長兼CEO

伊部幸顕

代表取締役社長兼COO

伊部 充弘

---

株主の皆様には、平素より格別のご支援を  
賜り、厚く御礼申し上げます。

第66期の事業概況に関しまして、ここに  
ご報告させていただきます。

---

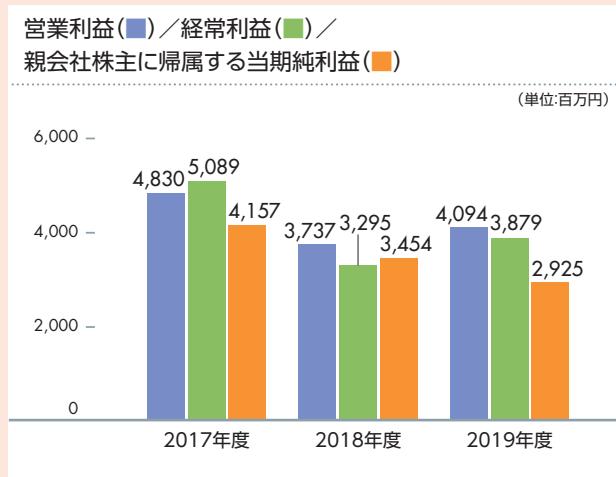
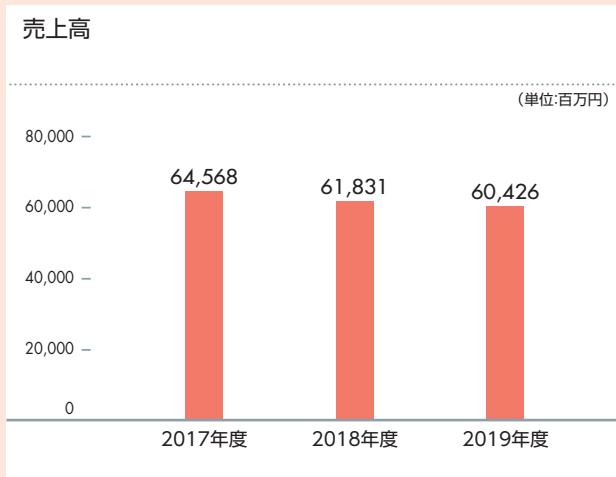
雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移してきたわが国経済は、当連結会計年度末に発生した新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、個人消費の落ち込みをはじめとして、今後極めて厳しい状況に直面するものと予想されます。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、2019年10月、2020年4月と短期間に2度に亘る薬価改定が行われるとともに、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が引き続き強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましては、市場競争の激化に加え、消費税引き上げや新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛措置などにより消費マインドが冷え込むなど、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、第9次中期経営計画(2017年度～2019年度)の最終年度にあたる当連結会計年度において、グローバル展開を推進する中、海外売上高を着実に拡大させました。また、当社グループの事業基盤の強化・拡充に資するM&Aやアライアンスにも積極的に取り組み、2020年1月に日水製薬株式会社との間で、同社の子会社である日水製薬医薬品販売株式会社の全株式の譲渡を受ける契約を締結し、2020年4月から子会社化しております。さらに、当社が創製した機能性ディスプレイ治療剤「アコファイド」につきまして、2019年10月にMeiji Seikaファルマ株式会社とタイ、インドネシアにおいて、2020年1月にスペインのFAES FARMA,S.A.とラテンアメリカ(ブラジル、メキシコなど、中南米13カ国)において、それぞれ独占的開発権および販売権の供与に関する契約を締結いたしました。一方、国内の医療用医薬品事業、コンシューマーヘルスケア事業につきましては、経営資源の再配置のもと事業拡大と収益性の向上に努めましたが、十分な成果を上げるには至りませんでした。

これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、604億26百万円(前期比2.3%減)となりました。利益につきましては、海外におけるアサコールの売上増加や販管費の削減などにより、営業利益40億94百万円(前期比9.6%増)、経常利益38億79百万円(前期比17.7%増)となりました。一方、前期に特別利益を計上したこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益は29億25百万円(前期比15.3%減)となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は31.0%(前期28.5%)となっております。



## 医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場では競合品ならびに後発品の影響を受けて売上が減少いたしました。海外市場では、「ASACOL 1600mg」の寄与もあり、イギリス、北欧などの国々で好調に推移し売上が伸長した結果、国内市場の減少をカバーし、「アサコール」全体では増収となりました。一方、炎症性腸疾患治療剤「Entocort」(国内販売名:「ゼンタコート」)につきましては、国内においては順調に売上が伸長いたしました。海外の一部の地域における在庫調整などの影響により、全体では苦戦することとなりました。なお、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド」につきましては、内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起こしに努め、進展を図っております。

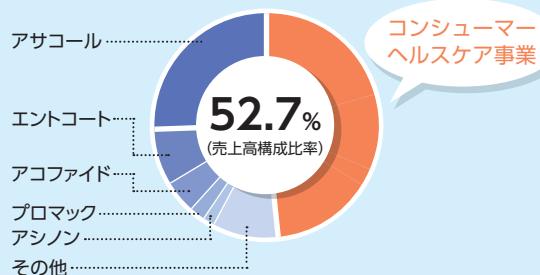
これらの結果、当事業の売上高は、317億68百万円(前期比0.2%減)となりました。



売上高

**317億68百万円** 前期比 **0.2%減**

主要製品売上高



アサコール	155億円
エントコート	49億円
アコファイド	30億円
プロマック	13億円
アシノン	10億円

医療用医薬品事業連結売上高(単位:百万円)



## コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「コンドロイチン群」につきましては、2015年度以降売上が年々減少してまいりましたが、当社コンドロイチンの認知度向上を目指し、OTC医薬品で唯一、コンドロイチンを1560mg(1日量)配合した“医薬品”であることを明確に訴求したテレビCMや新聞広告、店頭プロモーションを継続して展開し、健康食品との差別化を図った結果、前年度を上回る実績となりました。また、植物性便秘薬「ウイズワン群」につきましても、便秘薬市場が伸び悩み中、売上は堅調に推移いたしました。一方、「ヘパリーゼ群」につきましては、「ヘパリーゼプラスII」などの医薬品カテゴリの錠剤は堅調に推移したものの、コンビニエンスストア市場での他社ドリンク剤との競争激化に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛措置などにより、ヘパリーゼW群の第4四半期の売上が大幅に減少し、全体では減収に転じました。なお、2020年3月に「ヘパリーゼW炭酸」を発売し、製品ラインアップを強化いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、285億2百万円(前期比4.5%減)となりました。



OTC医薬品



ヘパリーゼ®Wシリーズ

売上高

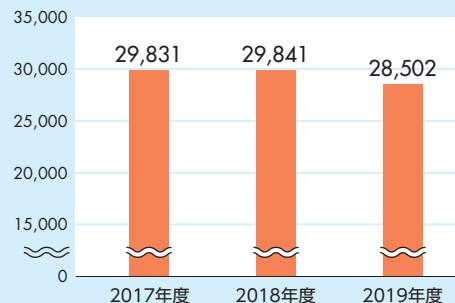
**285億2百万円** 前期比 **▶ 4.5%減**

主要製品売上高



ヘパリーゼ群	<b>126億円</b>
コンドロイチン群	<b>66億円</b>
ウイズワン群	<b>16億円</b>

コンシューマーヘルスケア事業連結売上高 (単位:百万円)



# 研究開発の状況

研究開発におきましては、Tillotts Pharma AGとの連携によるグローバル開発体制のもと、開発テーマを厳選のうえ、重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含めた新薬開発を推進してまいりました。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「Z-213(フェインジェクト)」につきましては、2018年3月に製造販売承認申請を実施し、2019年3月に承認を取得いたしました。

「Z-206(アサコール)」の中国での開発につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、2013年5月に承認申請を実施してはいましたが、中国当局による審査が終了し、2020年4月承認を取得いたしました。なお、同製品の中国における販売につきましては、開発主体であるTillotts Pharma AGが2019年10月にイタリアの大手製薬企業Menariniグループの中国現地法人と独占的販売権の供与に関する契約を締結しております。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌を対象として、日本を含むアジア地域7カ国においてフェーズⅢ国際共同治験を実施しており、これまでに予定された患者登録をすべて終了いたしました。

自社オリジナル品の「Z-338(アコファイド)」につきましては、国内において、小児機能性ディスペプシア患者を対象としたフェーズⅢに着手いたしました。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました「ZG-801」につきましては、高カリウム血症を対象として、国内においてフェーズⅡを実施しております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、引き続き西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、新製品を順次発売いたしました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の研究開発費は63億42百万円(前期比7.2%減)となりました。

# 研究開発パイプライン

## 新薬パイプラインの状況

### I. 国内開発状況

(2020年5月21日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認	Z-213／カルボキシマルトース第二鉄 (販売名: フェインジェクト®静注500mg)	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能性 ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-801／Patiromer	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合 非吸収性ポリマー	導入品

### II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序および特長	起源
承認 (中国)	Z-206／メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品

ご参考

#### フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

#### フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ\*と比較しながら調べます。

#### フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

\* プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

# 生産物流の状況／次期の見通し

## ● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質確保を前提に、工程改善や省エネ設備の導入を推し進め、原価低減に取り組んでまいりました。

生産関連部門では、GMP(医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準)が一層厳格になっていく中、埼玉工場、筑波工場ともに当連結会計年度に医薬品製造業の許可更新を完了いたしました。また、併せて偽造医薬品対策やバーコード表示方法の変更など、規制当局の新たなレギュレーションへの対応も完了いたしました。さらに、日水製薬医薬品販売株式会社の子会社化に伴い、同社のつくば工場を含めたグループ内の生産体制の見直しを実施し、一層の原価低減に取り組んでまいります。

購買部門につきましては、原材料の海外子会社との共同購入に着手し、原価低減に努めております。

一方、物流関連部門では、さらなる業務の効率化を実施し、コスト低減に努めるとともに、近年多発している自然災害への対応として、医療用医薬品についても、新たに九州物流センターで在庫を保有することとし、物流体制の強化を図っております。また、生産関連部門同様、日水製薬医薬品販売株式会社との共同配送を早期に実現し、物流コストの低減を進める計画としております。

## ● 次期の見通し

医療費抑制策の強力な推進やOTC医薬品市場における競争の激化に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う国内外の景気の冷え込みにより、当面一段と厳しい経営環境が続くものと予想されます。

このような状況下、当社グループは以下の取り組みにより事業の拡大と収益性の向上を推進してまいります。

医療用医薬品事業につきましては、国内においては、2020年3月末に協和キリン株式会社との販売提携を終了し、2020年4月以降に当社単独販売となった「アサコール」の情報提供活動の強化や、鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト静注500mg」の早期薬価収載と市場構築、また海外においては、「アサコール」と「Entocort」のさらなる市場浸透に取り組んでまいります。

コンシューマーヘルスケア事業につきましては、主力製品である「ヘパリーゼ群」、「コンドロイチン群」、「ウィズワン群」の購入層のすそ野の拡大と、主力製品に次ぐ製品群の育成に注力するとともに、日水製薬医薬品販売株式会社の子会社化により、両社のシナジーによる一層の事業拡大に努めてまいります。

なお、2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において、収束時期をはじめとして、新型コロナウイルス感染症による影響を合理的に算定することが困難なことから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

## ● クローズアップ

### ヘパリーゼW炭酸新発売

「ヘパリーゼWスパークリング」の後継品として、肝臓エキス、ビタミンC、ヒアルロン酸、ローヤルゼリー抽出物などを配合した「ヘパリーゼW炭酸」を、3月31日(火)より全国のコンビニエンスストアにて発売しました。

### ● シュワッとおいしいヘパリーゼW

シュワッとオレンジ味(無果汁)の透き通ったヘパリーゼWの炭酸飲料です。これまでのヘパリーゼWシリーズとは見た目も味も一味違う製品です。

### ● デザインを一新したボトル

ヘパリーゼWシリーズ初の透明なガラス瓶に、明るい色調のシュリンク包装を施し、デザインを一新しました。



# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。

当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA~F、6つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはGコースをお届けいたします。

ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

**A**  
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品  
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



**B**  
コース

健康飲料  
「コンドロビー®  
濃縮液潤甦®  
(じゅんこう)」  
2本セット



**C**  
コース

美容・健康商品  
「コンドロマックス®・アポスティ®セット」



**D**  
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液  
「ZZ:CC® (ジージー・シーシー) アドソープ  
エッセンス (30g)」  
2本セット



**E**  
コース

上質なうるおいを実感する3品目  
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



**F**  
コース

コンドロイチン研究を活かした、  
うるおい実感の上質スキンケア  
「イオナR  
スペシャルケア  
2点セット」



**G**  
コース

肝臓エキス・ウコンエキス配合ドリンク  
「ヘパリーゼ®W」10本



● D, E, Fコースの製品はゼリアオンラインショップ (<https://www.zeriaonline.com/>) でお買い求めいただけます。

## 中華人民共和国でアサコールの製造販売承認を取得

ゼリア新薬グループ会社のスイスTillotts Pharma AGが、潰瘍性大腸炎治療剤 ASACOLの中華人民共和国(以下中国)における製造販売承認を取得しました。

中国は炎症性腸疾患(IBD)の発生率がアジア地域で最も高く、過去10年間で2-3倍に拡大しております。ゼリア新薬とTillotts Pharma AGは、ASACOLの販売を通じて、中国におけるIBD治療に貢献できるものと考えております。

製造販売承認の取得に先立ち、Tillotts Pharma AGはイタリアのA. Menarini傘下のA. Menarini International Tradingとの間で、潰瘍性大腸炎治療剤ASACOL製品群の中国における流通・マーケティング契約を締結しております。Tillotts Pharma AGはアジア地域において新たなASACOLの販売テリトリーを獲得し、さらなる成長を目指します。

## アコファイド錠の海外導出契約を締結

機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド錠」の東南アジアならびにラテンアメリカ地域における開発権・販売権の供与に関するライセンス契約を締結しました。今回のライセンス契約の対象国において、機能性ディスペプシア患者のQOL向上に貢献できるものと当社は考えております。

来期以降も引き続き「アコファイド錠」の製品価値最大化を目指し、積極的に海外導出の交渉を重ねてまいります。

## ■ 日水製薬医薬品販売株式会社の株式を取得

---

2020年4月1日、ゼリア新薬工業株式会社は日水製薬株式会社から日水製薬医薬品販売株式会社の全株式を取得し、同社を完全子会社化しました。

今回の株式譲渡に際し、日水製薬医薬品販売株式会社は日水製薬株式会社より肝臓水解物事業を承継しており、今後はOTC医薬品等の製造販売に加え、肝臓水解物事業を新たに展開していきます。

ゼリアグループは同社を迎え入れ、OTC事業の規模が拡大するとともに、ヘパリーゼ群のさらなる成長にとって不可欠な、肝臓水解物の供給体制を確立しました。

※日水製薬医薬品販売株式会社は2020年6月29日に健創製薬株式会社に社名変更します。

# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度	科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2019年3月31日現在	2020年3月31日現在			2019年3月31日現在	2020年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>				<b>[負債の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>38,723</b>	<b>35,020</b>	<b>流動負債</b>		<b>38,838</b>	<b>41,070</b>
現金及び預金		8,045	9,005	買掛金		1,763	1,587
受取手形及び売掛金		14,952	13,369	短期借入金		27,988	29,705
たな卸資産		10,023	9,563	その他		9,086	9,777
その他		5,743	3,212	<b>固定負債</b>		<b>12,247</b>	<b>10,406</b>
貸倒引当金		△40	△130	長期借入金		7,795	5,470
<b>固定資産</b>		<b>71,710</b>	<b>69,135</b>	退職給付に係る負債		648	1,123
<b>有形固定資産</b>		<b>22,913</b>	<b>23,125</b>	資産除去債務		55	55
建物及び構築物		7,573	7,073	その他		3,747	3,757
機械装置及び運搬具		3,167	2,700	<b>負債合計</b>		<b>51,086</b>	<b>51,477</b>
土地		11,662	11,660	<b>[純資産の部]</b>			
建設仮勘定		84	75	<b>株主資本</b>		<b>51,534</b>	<b>49,264</b>
その他		425	1,616	資本金		6,593	6,593
<b>無形固定資産</b>		<b>29,799</b>	<b>29,848</b>	資本剰余金		11,685	11,685
<b>投資その他の資産</b>		<b>18,997</b>	<b>16,162</b>	利益剰余金		43,822	44,832
投資有価証券		5,538	5,968	自己株式		△10,565	△13,846
繰延税金資産		44	85	その他の包括利益累計額		7,650	3,246
退職給付に係る資産		12,922	9,759	その他有価証券評価差額金		△21	△457
その他		507	354	為替換算調整勘定		2,084	1,648
貸倒引当金		△15	△6	退職給付に係る調整累計額		5,588	2,054
<b>資産合計</b>		<b>110,433</b>	<b>104,155</b>	非支配株主持分		162	168
				<b>純資産合計</b>		<b>59,347</b>	<b>52,678</b>
				<b>負債・純資産合計</b>		<b>110,433</b>	<b>104,155</b>

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
売上高		61,831	60,426
売上原価		17,752	16,643
売上総利益		44,078	43,783
返品調整引当金戻入額		38	46
返品調整引当金繰入額		46	38
差引売上総利益		44,071	43,791
販売費及び一般管理費		40,334	39,696
営業利益		3,737	4,094
営業外収益		290	310
営業外費用		732	525
経常利益		3,295	3,879
特別利益		1,984	44
特別損失		59	3
税金等調整前当期純利益		5,221	3,920
法人税、住民税及び事業税		1,061	527
法人税等調整額		696	453
当期純利益		3,463	2,938
非支配株主に帰属する当期純利益		9	13
親会社株主に帰属する当期純利益		3,454	2,925

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		5,500	7,251
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,855	△405
財務活動によるキャッシュ・フロー		△4,534	△5,877
現金及び現金同等物に係る換算差額		△224	△52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△2,114	916
現金及び現金同等物の期首残高		10,034	7,920
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		—	43
現金及び現金同等物の期末残高		7,920	8,880

## 連結株主資本等変動計算書(要旨)

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円、端数切捨て)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,593	11,685	43,822	△10,565	51,534	△21	2,084	5,588	7,650	162	59,347
当期変動額											
剰余金の配当			△1,603		△1,603						△1,603
親会社株主に帰属する当期純利益			2,925		2,925						2,925
自己株式の取得				△3,280	△3,280						△3,280
連結範囲の変動			△311		△311						△311
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△435	△435	△3,533	△4,404	6	△4,398
当期変動額合計	—	—	1,010	△3,280	△2,270	△435	△435	△3,533	△4,404	6	△6,668
当期末残高	6,593	11,685	44,832	△13,846	49,264	△457	1,648	2,054	3,246	168	52,678

## 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,667名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

## 役員 (2020年6月26日現在)

代表取締役 会長兼CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役 社長兼COO	伊 部 充 弘
取締役副社長	遠 藤 広 和
常務取締役	岸 本 誠
取 締 役	小 森 哲 夫
取 締 役	野 本 亀久雄
取 締 役	森 元 誠 二
取 締 役	加 藤 博 樹
取 締 役	平 賀 義 裕
取 締 役	河 越 利 明
取 締 役	草 野 研 治
取 締 役	岡 澤 有 輝
常勤監査役	高 見 幸二郎
常勤監査役	石 山 佳 治
監 査 役	中 由 規子
監 査 役	紙 透 大

## 事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 北関東営業所
- 南関東営業所
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

## 主な子会社 (2020年6月26日現在)

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS (フランス)
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd (ベトナム)
- ZPD A/S (デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 日水製薬医薬品販売株式会社
- 株式会社ゼービス

(注) 日水製薬医薬品販売株式会社は2020年6月29日に健創製薬株式会社に社名変更します。

## 株式の状況

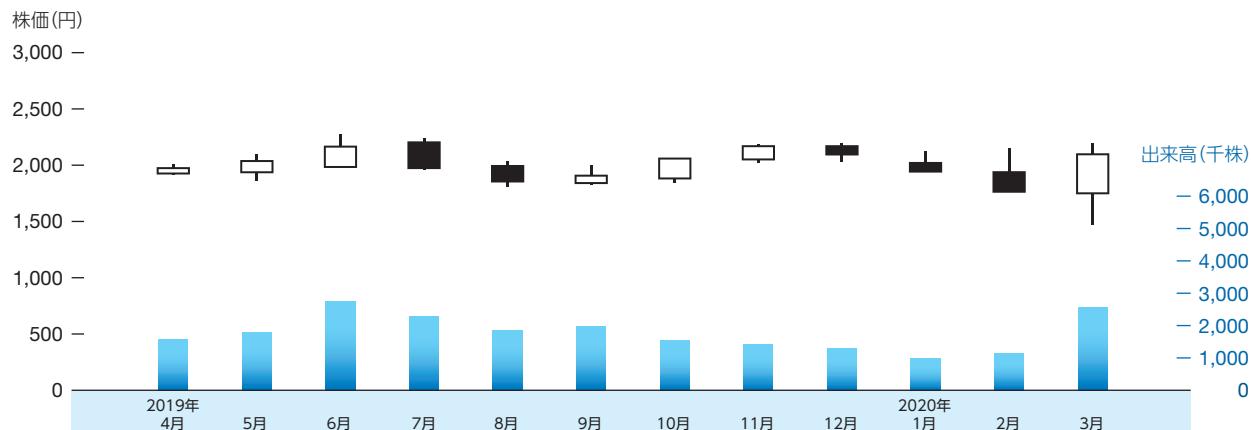
①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	10,880名

## 大株主

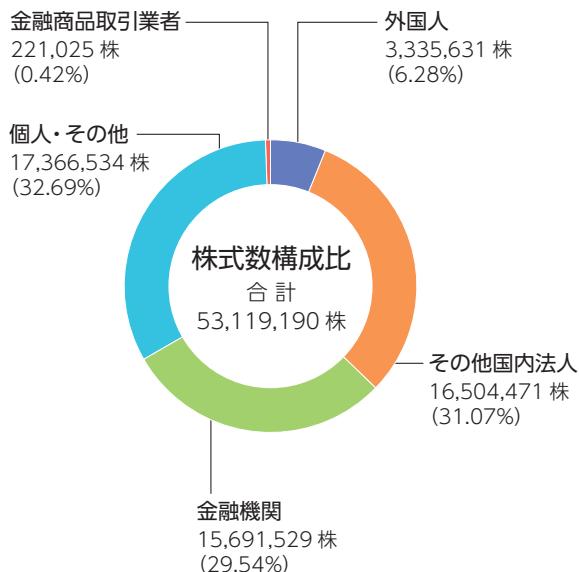
株主名	持株数(株)	出資比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	10.2
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.6
森永乳業株式会社	1,940,215	4.2
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,747,200	3.8
伊部幸顕	1,592,967	3.4
株式会社三井住友銀行	1,406,131	3.0
株式会社みずほ銀行	1,406,053	3.0
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	976,000	2.1
ゼリア新薬工業従業員持株会	956,555	2.1

(注) 出資比率については、自己株式(6,825,944株)を控除して算出しております。

## 株価および出来高の推移



## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務是三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

### ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ●未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080  
<https://www.zeria.co.jp/>



## ホームページのご紹介

### 最新のIR情報は 当社ホームページを ご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



<https://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬  
ZERIA